

目 次

I. 総括研究報告（別添3）

定量的化学物質発がん性予測のためのゲノム安全性評価新規解析手法の開発研究---	1
堀端克良	

II. 分担研究報告書（別添4）

1. 化学物質の人健康に関する有害性評価における定量的発がん性評価の現状・課題の整理と各種新規解析手法の活用場面の検討-----	22
井上薫	
2. DNA損傷応答反応や関連する分子反応を定量定性的に捉える新手法（DDR法）の開発（堀端担当部分）-----	35
堀端克良	
3. DNA損傷応答反応や関連する分子反応を定量定性的に捉える新手法（DDR法）の開発（松田担当部分）-----	44
松田俊	
4. 第Ⅱ相薬物代謝も勘案した <i>in vitro</i> 小核試験系の構築とそのゲノム安全性評価に関する研究-----	49
安井学	
5. 染色体不安定性を指標とする発がん性の定量的評価法の検討-----	55
石井雄二	
6. ecNGS法を用いた発がん性予測手法の開発に資する遺伝毒性評価法の開発-----	64
杉山圭一、鈴木 孝昌、諸角涼介	
7. 発がん性試験と遺伝毒性試験の相互相関性の相関解析-----	69
魏民	

III. 研究成果の刊行に関する一覧表（別添5）-----82